

貸借対照表

2026年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
(流動資産)	7,403,811,552	(流動負債)	4,366,446,962
現金	1,741,397	工事未払金	1,721,829,951
当座預金	224,786,565	短期借入金	0
普通預金	1,029,132,976	設備未払金	0
定期預金	0	未払金	154,397,382
定期積金	0	未払消費税	0
完成工事未収入金	403,884,907	未払法人税等	23,497,300
販売用土地	1,656,417,299	未払費用	40,562,723
販売用建物	3,058,779,655	未成工事受入金	1,303,390,901
未成工事支出金	182,697,088	販売用不動産受入金	54,300,000
原材料及び貯蔵品	14,171,863	前受金	115,366,323
前払金	46,656,841	預り金	677,389,382
前払費用	556,286	工事損失引当金	0
預け金	0	完成工事補償引当金	24,713,000
関係会社預け金(普通)	608,769,392	賞与引当金	251,000,000
関係会社預け金(定期)		役員賞与引当金	0
未収入金	174,745,450	(固定負債)	920,576,567
立替金	2,395,004	長期リース未払金	0
繰延税金資産	0	退職給付引当金	341,988,951
四半期末収税金	0	長期預り金	340,979,850
貸倒引当金	△ 923,171	工事保証金	176,758,642
		長期未払金	0
(固定資産)	2,018,108,587	長期資産除去債務	60,849,124
有形固定資産	1,696,418,006	負債合計	5,287,023,529
建物	1,898,310,943	純資産の部	
展示場	763,273,696	株主資本	4,134,896,610
構築物	194,343,121	資本金	34,000,000
機械装置	3,522,000	資本剰余金	6,000,000
車両運搬具	6,355,288	資本準備金	6,000,000
工具器具備品	135,101,185	その他資本剰余金	0
土地	926,125,554		
リース資産	52,348,000		
建設仮勘定	52,921,362		
減価償却累計額	△ 2,335,883,143		
無形固定資産	687,570		
電話加入権	236	利益剰余金	4,383,864,610
ソフトウェア	687,334	利益準備金	8,500,000
		別途積立金	4,249,258,783
投資その他の資産	321,003,011	繰越利益剰余金	126,105,827
投資有価証券	10,000,000		
長期貸付金	25,265,907	自己株式	△ 288,968,000
長期債権			
長期前払費用	125,970,495	評価・換算差額等	0
前払年金費用	47,077,592		
長期預け金	928,000	その他の有価証券評価差額金	0
その他の投資等	137,178,519		
長期繰延税金資産	△ 25,417,502		
貸倒引当金			
資産合計	9,421,920,139	純資産合計	4,134,896,610
		負債・純資産合計	9,421,920,139

個別注記表

重要な会計方針

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産(リース資産除く)……定額法

(2)無形固定資産(リース資産除く)……定額法

(3)リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 … リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金 … 売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については法人税法規程による限度額相当額(法定繰入率)のほか、貸倒懸念等特定の債権 については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 … 従業員賞与に充てるため、翌事業年度支給見込額のうち当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

完成工事補償引当金…引渡後の建築物の瑕疵担保責任に基づく補償費の支出に備えるため、保証責任が伴う完成工事高、不動産事業売上高の建物部分売上高に過去の実績率を乗じた額と特定の物件について補償費用の個別見積額を計上しております。

退職給付引当金 … 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、原則法に基づいて計上しております。

工事損失引当金 … 受注工事に係る将来損失に備えるため、損失の発生が見込まれ、かつ、その金額を合理的に見積もることができる工事について損失見込額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上の方法

完成工事高及び完成工事原価

工期のごく短いもの等については工事完成基準を適用し、その他の工事で当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を適用しております。

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を2021年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

会社方針の変更

該当事項はありません。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	2,335,883,143円
2. つなぎローン保証残高	755,049,822円